

市内の交通安全の取り組み

ここでは、市内で交通安全に関する活動を行っている方々を紹介します。



にかほ地区交通安全協会

交通安全協会は、交通事故の無い安全な社会の実現を目指して、交通安全に関する事業を行っている地域ボランティア団体です。本協会には象潟、上浜、上郷、金浦、平沢、院内、小出の7つの支部があり、地域ごとにさまざまな活動に取り組んでいます。

にかほ地区交通安全協会活動の様子

①園児交通安全教室/②小学生自転車安全教室/③早めのライト点灯運動/④園児体験型交通安全講習会/⑤ヤクルト作戦/⑥C G映像でリアルな道路横断を体験できる歩行環境シミュレータを活用した高齢者の交通安全教室/⑦飲酒運転根絶飲食店訪問

活動内容の詳細

登校時に地区の児童を交通事故から守るため、鳥の海町内から県道58号交差点まで、安全誘導の活動をしています。他に四隅池、鳥屋森地区の方も一緒に活動しています。

始めたきっかけ

これまで路線バス運転手として35年勤務し、仕事柄交通安全については大きな関心を持っていました。退職と同時期に日東道象潟ICができたのですが、ICから国道までの間、スピードを出して走る車が多かったので危険を感じていました。そのことがきっかけですね。

交通安全に対する思い

にかほ市、秋田県のドライバーの特徴として横断歩道に歩行者がいるにもかかわらず止まらない車が多いです。子どもたちのためにもドライバーの皆さんには横断歩道で歩行者がいれば必ず停止することを心がけてもらいたいです。



象潟・鳥の海地区で小学生向け街頭指導に携わる
上村和男さん

上村さんは象潟・鳥の海地区で、小学生の登校時に街頭で交通指導を行っています。これまで1日も欠かさず街頭に立ち続ける上村さんに、お話を伺いました。



9月21日～30日

秋の全国交通安全運動

皆様のご協力をお願いします。

特集 交通安全 について考える

今年に入ってから、国道7号上での大規模な交通事故が多発し、死亡事故も発生しています。これから秋の全国交通安全運動が始まります。交通事故をゼロにするために、今一度交通安全について考えてみませんか。

☎生活環境課 ☎32-3033 / にかほ地区交通安全協会 ☎43-2603

にかほ市の交通事故発生状況



過去5年間の市内で発生した人身事故を集計してみると、発生件数は102件で、そのうち約半数の53件が国道7号上で発生しています。また残りの半数の事故も、およそ9割が国道7号の沿線で発生しています。

令和6年1月1日から7月31日まで市内で発生した交通事故は、物件事故が186件、人身事故が8件で、人身事故の内訳は正面衝突が3件、出会い頭が2件、右折直進が2件、駐車場の接触が1件です。

正面衝突は全て国道7号上で重傷以上のけが人が出ています。正面衝突、出会い頭、右折直進の形態の交通事故はけがをするおそれが高く、また一般的に車の速度が速いほど、事故の被害も大きくなります。

各地域ごとの事故発生状況の特徴

仁賀保地域

国道7号上および県道上の交差点付近での事故が多い。

金浦地域

交差点付近と直線道路での事故が多い。金浦IC入口および国道7号上で大規模な事故が発生。

象潟地域

他地域と比較して駐車場や私有地での事故が多い。

にかほ市内の道路は国道7号など直線道路が多く、走りやすい道路です。その分漫然運転や、携帯電話等を操作しながらの運転は絶対にやめてください。

交通事故は普段運転する皆さんの心がけ一つで防ぐことができます。一瞬の油断で事故を起こし、皆さんの大切な人が悲しむことの無いように安全運転をどうかよろしくお願いします。



由利本荘警察署
にかほ幹部交番
交通係
小幡係長

にかほ市の交通事故の現状

市内の交通事故の発生状況等の詳細について、由利本荘警察署にかほ幹部交番交通係小幡係長よりお話を伺いました。